

会議録

会議の名称	第2回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年1月28日（火）午後7時00分から
開催場所	新城市役所3階災害対策本部室
会議の次第	1 あいさつ 2 検討 (1) 開催の方法（有観客・オンライン） (2) 開催の回数 (3) 開催予定日、開催予定場所及び説明会 (4) アンケート (5) ワークショップ等 3 その他
欠席委員	なし

1 あいさつ

事務局から簡単なあいさつを行い、前回欠席の中野委員の自己紹介が行われた。
続いて委員長から開始のあいさつが行われた。

2 検討

(1) 開催の方法（有観客・オンライン）

委員長	それでは、検討1の開催の方法について、事務局からお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 4年前は新型コロナウイルス感染症の影響により無観客での開催となったことから、まずは有観客・無観客について確定しておきたいこと。 ・ 予算としては、4年前の開催時の当初の想定と同様に新城文化会館の小ホール1回分、ケーブルテレビの生中継・再放送1回分、YouTubeでの生配信・アーカイブの3媒体を想定して計上していること。
委員長	説明ありがとうございました。 この点はこの場で決まるかなと思いますが、有観客・オンラインに関して御意見いただければと思います。
委員	事前に送っていただいたアンケート結果を見ると、人となりを見るには現地が良いという意見もありましたし、家庭の事情でいけないという人もいましたので、有観客も画面上も両方実施する方が良いと思います。
委員長	ほかにいかがでしょうか。 ここに関しては私自身も、予算も取っていただいているということですし、両方の需要があると思いますので、有観客でかつオンラインのハイブリッドでの開催方法が良いかなと思っておりますが、いかがでしょうか。 では、そのような形でお願いします。

(2) 開催の回数

委員長	次は検討の2の開催の回数について、事務局から説明をお願いします
-----	---------------------------------

	す。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 4年前は、新城・鳳来・作手で各1回ずつの開催を計画したが、結果としては現地での直接の観覧は不可となったこと。 ・ 今後、開催の日と場所を決めていく上で開催の回数を決定する必要がある、考慮要素としてはいくつか考えられること。事務局からは次の5つの要素を提示した。 (1) 4年前と同様の新城・鳳来・作手の各地区1回ずつでの開催方法 (2) 他市町村の首長選での開催回数（複数回の開催はあまりないのではないか） (3) 4年前には、市民の理解を深めるためA4用紙1枚の政策シートを開催日ごとに事前に提出してもらい、また、当日の討論の準備も必要になるなど、短期間に集中しての用意が必要となることから、開催回数が増えると立候補予定者の負担となる。 (4) 開催当日は実行委員会の委員にも可能な限りで役割を担っていただきたいため、実行委員会委員の負担となる。 (5) 1回の開催での討論時間は長くて90分程度が限度と思われ、4年前は20分を4セットで80分、3回の開催で合計240分となった。開催後のアンケートでは、80分を適切とした回答が35.3%、少し長い47.1%、長い11.8%、短い5.9%であった。開催の回数・討論の時間が増えると見る側もつらくなり、反対に回数を減らしたり、短くしたりすると物足りなく感じるかもしれない。
委員長	ありがとうございました。開催の回数は少し議論になるかと思います。先に整理をしておきたいと思いますが、質問はありますか。 では、私から、8年前はハイブリッド開催でしたか。
事務局	有観客でした。
委員	ユーチューブでリアルタイムに配信をしていました。ケーブルテレ

	ビでの放送はありませんでした。
委員長	ありがとうございます。 そのほか御質問ありますか。 特にないようですので、皆さん色々なお考えがあるかと思ひますので、それぞれ意見を聞ければと思ひます。
委員	質問になってしまうかもしれませんが。 地域が広いので地域ごとで見られる場所があるのは必要なのかなと思ひますが、パブリックビューイングみたいな形でできるのか、各個人で見られる媒体で見るのか、にもよるのかなと感じています。どこの会場に行っても同じものが見られるのであれば回数も絞れると思ひますが。
委員長	事務局との事前の打ち合わせでもパブリックビューイングの設営の話は出ました。事務局としてはどうでしょうか。
事務局	そうですね。場所によりますが。
委員	会場に人を配置しなければいけないのでマンパワーが必要ですね。
事務局	そうですね。そこは調整が必要ですが、職員に対応をお願いしたりして設営は可能と思ひます。 実は、検討の3の事務局説明でお話ししようと思ひていましたが、サテライト・パブリックビューイングは、場所の規模や場所の分散の程度や資材等の環境的な課題はありますのでこれから検討していく必要はありますが、実際の調整も必要となりますが、可か不可かということでは可だと思ひます。
委員長	パブリックビューイングができるのであれば1回でも、という意見でしたね。
委員	やっぱり広いので、行けない日や移動手段に困ることもあると思ひますので、3回くらいはやった方がいいかなと思ひます。 もう1つ、映像と会場では違いがあつて、8年前には、画面上では話している人しか映らないけれど、会場ではそれ以外の人の様子を見ることができました。撮影の方法にもよりますが。会場に行くというこ

	とがいかに大事かということはあると思いますので、なるべく会場に行く機会を増やせるよう回数は増やした方が良いかなと思います。3回を超えると負担が多くなって大変だと思いますが、3回くらいはやった方が良いのではないかなと。
委員長	ほかにはいかがでしょうか。
委員	私も前回のように作手・鳳来・新城の3回くらいが良いと思います。足を運んで、アンケートを見ると人となりを知りたいという意見もありましたので実際に肌で感じられる機会が必要かと。新城市は、愛知県で2番目に大きいですし、86%が中山間部で、作手と新城で500メートル高低差がある中で新城に集まれというのは少し乱暴かなと思います。合併してできた新城市ですので、それぞれの地区で見られるのは大切かなと思います。
委員	山間地域の方とか、特にお年寄りも多いですので、足を運ぶことを考えると近いところで開催するのが丁寧かなと思いますが、回数は1回にする方が立候補予定者の負担などを考えるといいのかなと。オンラインで録画をいつでも見られるようにすればともいますが、山間部の高齢者がそれにアクセスするのもまた難しいのかなと、すごく悩んでいます。そうするとやっぱりパブリックビューイングのような形が現実的なのかなというふうに思います。 先ほどの人となりと会場の雰囲気というのは、可能かどうかわからないですが、例えばカメラの台数を増やしてワイプで立候補予定者の方を映しておく方法などでなるべく情報量を増やすと、リアルに近づけるくらいしか今の意見としては浮かばないですが、悩んでいるところです。
委員長	足が運びにくいというのは、確かに作手から夜の開催としたら公共交通で来られるのかということも残っていると思いますので、そのあたりを考える必要もあるかなと思いますけれど。
委員	1つ聞きたいのですが、立候補予定者の負担になるという部分が少し気になるところで、自分で集めなくてもアピールできる場になるの

	で。
委員	私も同感です。3回話すことが面倒というようなら選挙に出なければいいのにと感じですね。 そこまで丁寧に真摯に市民に向き合える方ということが市民が評価するポイントになるかもしれません。取り残されないという視点を持っている方なのか、大きくいこうという方なのかなどが見えてくるのではないかと思います。
委員長	良い悪いは別として、立候補予定者がこの討論会を軽視した場合に、回数が多いということでそもそも参加をしないという選択をすることもあります。これは権利であり自由なので、それがどう結果に影響するのかは分かりませんが、なるべくであれば立候補予定者全員に参加してほしいというときにこういう負担もあるよねっていう感覚で、こういう面もあるのかなと思いましたので、考え方はそれぞれですけどね。
委員	複数出る場合は良いですけど、討論会は立候補予定者が1人でも開催しますよね。
委員長	ここで3回開催とした場合には1人で3回ということになります。
委員	それはしんどそうかなと思います。1人開催の場合には1回という選択は。
委員長	それはできますか。できないですよ。
事務局	それはできないですね。開催日などは先に決めて公表してしまいますので。
事務局	ただ、候補者は出る日出ない日を選べます。
事務局	そうですね。ただ、前回説明させてもらったように参加の期限は2つあって最初の参加期限では、1人開催というのは確定しませんので、1週間前にならないと判断ができない状況です。
委員	何を大切にしたいのかが重要なかなと思います。多くの人に見てほしいというのを大切にしたいなら、みんながアクセスできるように3か所でとなりますし、一度でパブリックビューイングもやってとい

	うのもそうかなと思います。事務的な、立候補予定者の負担を減らしたいというのであれば、一度でパブリックビューイングが良いと思いますし、人となりを伝えたいということを大切にしたいのであれば、3か所で実施するのが良いと思います。実行委員会の中で開催する上で何を大事にしたいのか、どんな討論会にしたいのかが重要だと思います。
委員長	1回聞いてみますかね、ちなみにどう思われていますか。
委員	そうですね。開催する上で一番大事なことは、立候補予定者の方がどのような方なのかをより多くの人に伝えるものがこの会なのかなと思っているので、そうしたら3か所の施設での開催が良いのかなと思いました。
委員長	ありがとうございます。
委員	私は、1回で1個の会場でパブリックビューイングがある形がベストなのかなと思います。 東栄町の討論会に私も参加しましたが、そこではお祭りのような楽しめる形で来場者を集めていました。外にも討論の声が届くようになっていましたので、楽しみを入れて人を集めて実施する方法もあるのではないかと考えています。
委員	私は3回がいいと思います。今の意見を聞いて、1箇所お祭りみたいな形はありなのかなということで、最終的には選挙に来てもらわないと話にならないので、より選挙を身近に感じてもらうには、家の近くで討論会を実施することに意味があるのかなということを感じています。身近での討論会の開催をまずは希望します。オンラインも必要だと思います。 若い方にお祭りだけでも、その向こうに選挙があるんだよということで、主権者教育的なものは必要かなと思います。
委員長	前もって主権者教育的なものがあって、当日はお祭りのでもその先が伝わるといいよねということですね。
委員	そうですね。

委員長	ほかにどうですか。
委員	自分も1回開催がいいかなと初めから考えていまして、3回も市民目線からしたらいいかなと思いますが、自分は、例えば、実は2回目に行こうと思っていたけれど1回目に開催した動画を見てこんな感じかと思ったら、2回目はやっぱりいいやみたいな感じになります。それは良くないかなと思いますので、今回は選挙に興味を持ってもらうということもありますし、まず人が集まってワイワイした感じの討論会が毎行われているんだなっていうことを周知するところも大事かなと思います。先ほどのように1回お祭りのように大きく開催しますと広報することでその日に注目が集まるかなと思いました。
委員長	ありがとうございました。8名の話をお伺いして、3回と1回の意見が半々でした。より多くを伝えたいというものと、反対にワイワイと1回で注目・関心を集めるという考え方、それぞれあるのかなと感じております。 これは、事務局的に今日決めきる必要はありますか。
事務局	開催の日や場所に関しては3月中に決定できれば良いので、開催の回数は今日決めきらないといけないものではありません。
委員長	ありがとうございます。 次回までに今までの御意見を踏まえて、どうしたらより多くの方に伝わるのか、若い人に伝えるにはどうしたらいいのかを踏まえて、案を作らせていただきます。その案に対して多い・少ないという意見をいただけたらと思います。 その前に、絶対に3回だ、絶対に1回だというような意見がありましたら先に聞いておきたいと思いますが。 一度らせていただく形でよろしいですか。
委員	その前に、3回とも同じ内容ではないですね。
委員長	前は3回ともテーマを分けました。 アンケートの結果も踏まえてテーマの内容・名称も含めて紛糾した記憶がありますが、そういうものも回数に応じてテーマを決めますし、

	1 回だけだとしたら 1 日の開催の中でテーマがいくつかあるということも想定できます。
委員	事務局に聞きたいのですが、討論会の目的は市民の理解を深めることで、選挙にきてもらうことが目的ではないですね。
事務局	そうですね。討論会自体の目的としては知ってもらうことが目的ですね。
委員長	それでは、一旦預からさせていただきます。

(3) 開催予定日、開催予定場所及び説明会

委員長	それでは、検討 3 に進みます。事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 選挙日が決まっていないため、最終的な確定はできないことからできる範囲での検討となること。 ・ 曜日と時間に関して 4 年前の検討では、市政モニターアンケートの結果、現役世代・子育て世代の見やすさ、農繁期、お祭り、前回特有のワクチンの接種時間（午後 5 時まで実施）が検討の材料となったこと。 ・ 立候補の表明が遅くなるケースも想定され、開催日を前の方とすると迷っている立候補予定者が参加しにくくなり、台風での予備日を考慮した上で、遅めの開催日とする方が適切と考えられること。 ・ 場所に関しては施設の空き状況、収容可能人数、移動の負担等が考慮要素となること。 ・ サテライト会場・パブリックビューイングの要否 ・ 説明会は、4 年前は、実行委員会が中心となって開催したこと。
委員長	この話もありましたので回数の方は少しふらつかせたのですが、例えば、平日の夜・土日のお昼と片方に決めきっていいのかなと思っています。検討の中で行ける・行けないという話があるのであれば、1 回ではなくせめて 2 回はとか、場所も行きやすい場所を想定したときに、ここここはドカンとなるよねなど、そのような話し合いができると

	次回に向けてこちらから出す案が固めやすくなります。また、最終的に具体化がしやすいかなと思います。それぞれが思うことを話してください。 前は、1回だけ土曜日、2回は平日で、全て午後7時からでした。 こういう人はこういう時間帯などそのような意見がいただけると後の検討がしやすいかと思います。
委員	アンケートを見てみると討論会に参加したくない、が半数以上ですので、堅苦しい開催には疑問の印象があります。興味がある人は来るとは思いますが、全然興味のない人、若い世代、これから新城で過ごしていくような人に対して立候補予定者の意見を聞く機会があることを知ってもら必要がありますので、1回でバンと開催する方が1回行けば良いので、お手軽で楽だと思います。 お祭りっぽく開催する方が来やすく、子育て世代もそういうところに行く親の姿を子どもが見るきっかけにもなると思います。最近選挙に子どもを連れて行ったりしますが、親の活動や参加している姿を見せるには休日の昼間になるのかもしれませんが、お祭りのような形で、フランクにした方が参加しやすいと思います。 興味がある人は知っているので、興味のない人に知ってもらって足を運んでもらうかということかなと思います。参加したくない60%をいかに引き込むのが大切かなと思いました。3回開催だと3か所行かないと分からないなっていう人もいるだろうし、つまらないなとなると1回でいいかとなってしまいます。 そう考えると、1回というか、メインの日のような形で大方のことを討論できるように企画することもありかなと思います。1回押しになってしまいましたが。 会場全体の雰囲気は、伝わるような撮影の仕方に対応すれば良いかなと思います。
委員	話は変わりますが、スケジュール表に広報とありますがこれはどういう内容ですか。

事務局	本日参考としてお配りした検討の大まかなスケジュール表の広報ですね。これは、広報全般を指しますので、どの内容というものではありません。タイミングをみてほのかや市の公式LINEで討論会の広報をしていくということです。
委員	それは事務局で実施していくわけですね。
事務局	実行委員会の役割の中に広報について検討するというものがありますので、相談しながら進めていきたいと思っています。4年前は、検討の時間がありませんでした、ほのかと一緒に各戸に配布したチラシの中身については検討してもらいました。 現時点では、ほのかの4月号に討論会の広報ページを載せられたらと検討しています。
委員長	色々な媒体・内容で広報していくことが必要かなと思います。 前回のチラシも、届く人には伝わりますが、人によっては見た瞬間に思考を放棄するチラシだったなと、今見ると思います。
委員長	堅苦しくしないで60%をどう引っ張り出すのかというのも確かに1つの考え方だと思いますし、東栄町のときはキッチンカー5台ぐらいを呼んで、町長選と町議選の討論会も実施しました。午前中に町長選、お昼休みの時間を作って午後から町議選として、キッチンカーでお昼を食べさせることで会話する時間を作るという方法としました。休みの日中に開催することで子育て世代が来ていましたし、そういう会があるという関心も引っ張れたなと思いますので、やり方の一つかなと思います。
委員	会の主催は誰でしたか。自治体でしたか。
委員長	元々は東栄町の商工会の青年部がやっていたのですができなくて、有志で守る会のようなものができて、その会の代表から青年会議所が相談を受けて協力する形で開催されました。
委員	事務局的には、自治体の実施としてお祭りのような開催はありますか、なしですか。
事務局	そうですね。討論会の方向性としては、公平公正に開催ができるか

	というところが要になるかと思います。お祭りの開催にすることによって、有利不利があるのか、公平公正でなくなるのかを検討していただくことになると思います。キッチンカーなどの準備は、他のルールとの調整もあると思いますので、可否を事務局側で調べていくことになるかと思います。
委員長	アイデアとして、市役所が呼ぶパターンと、討論会の開催時に横で勝手に開催しているという手段もあり得ます。外のブースで並べるのは、基本的には主催者と文化会館からの許可が取れば問題がないと確認は取れていますので、そういう逃げ道もあるかと思います。
委員	軽トラ市の日と重なったみたいな感じですね。イベントの横で実施するみたいな。
委員長	そうですね。制限もあると思いますので軽トラ市とかぶせることが現実的かはわかりませんが。やり方はいくつかあるかと思います。 休みの昼間を前提にした議論に傾いていますけれど。ほかの御意見いただいてもよろしいですか。
委員	前回のこの7時は意図的でしたか。
事務局	ワクチン接種が午後5時までだったということと、農作業は日中ですし、仕事からの帰宅も7時からの開催であれば間に合うだろうという要素が大きかったかなと思います。
委員長	色々な人がいますので、回数の制限など考え方はありますが、休みの昼と平日の夜間に開催できると一番ゾーンとしては広く当たれるのかなと思います。
委員長	そういう考え方でよろしければ、この検討項目ですとあとは場所ですかね。何となく文化会館ベースで考えていましたが、サンプル的に作手と鳳来でたくさん入れる場所はどこでしょうか。
委員	作手交流館と鳳来支所ですかね。
委員長	支所は、入って左のところですよ。
委員	そうですね。駐車場も、駅も近い、バスの停留所もありますね。
委員長	作手の交流館は何人くらい入れますか。

事務局	小さい体育館のようなところなので、１００人ぐらいは入れるかと思いますが。
委員長	どこで開催するかはありますが候補地ですね。次は、説明会を前回は実行委員会が中心とありましたが、それぞれ役割をお願いすると思いますが、できますよね。 では、実行委員会中心ということで行きたいと思います。

(4) アンケート

委員長	それでは、次に進みます。事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 令和６年度予算でアンケート用として郵便料が確保されている。 ・ ４年前は、テーマ決めの参考とするため、自由記述欄と積極的な政策が必要な項目の選択をしてもらうアンケートを実施した。 ・ 令和７年度の予算には、アンケートの費用はないため、実施する場合には電子をメインとしてのアンケートとなる。 ・ 令和６年度に実施する場合には、ほのか４月号（３月中旬発送）でアンケートの広報をすることとなる。 ・ ほのか４月号の発送と同時期に無作為抽出の市民への郵便の発送をすることとなる。
委員長	個人的にはやりたいと思っています。前回のアンケート結果もありますが、４年前と今では社会情勢が変化して関心ごとにも変わっているかと思います。紙が来年度できないのであれば、色々な方の情報を得られるということで、紙で実施しておく方が良いのかなと思いますが、どうでしょうか。
委員	郵送の場合の回収率はどのくらいですか。
事務局	前回の自分の記憶ですと、５００出して１００と少しでした。
委員	無作為というのはどの幅ですか。年齢の幅は。
事務局	あのときは中学生以上だったかと思います。
委員	抽出は、年齢が偏らないようになどはしない形ですか。

事務局	そうですね。抽出は人間ではなくパソコンでランダムですので。
委員	広報に載せるQRコードはあった方がいいのかなと思います。
委員	そうするとそこは年齢制限がなしになりますね。
事務局	そうですね。前は10代から80代以上までで選択してもらう形にしましたが、ネットからだとか何歳の子が回答しているのかは分かりませんね。前は、名前は入力してもらいました。
委員	紙と電子ではどちらの回答が多いですか。
事務局	自分の感想でいいですか。圧倒的に紙です。
委員長	物が届くと返してくれますね。
委員	アンケートをしたら謝礼があるといったアンケートとは別のアンケートですか。
事務局	それは市政モニターアンケートのことですかね。 あれは年に4回だけで100人に限定して、あなたが選ばれましたという形で、回答率はかなり高いですね。資料としてお渡しした令和2年度のものは回収率96%でした。
事務局	来たら必ず答えないと、という使命感はあると思います。
委員	文言で使命感を出させれば。アンケートの出し方ですね。
委員	答えたくなるようなものにしたいですね。QRコードがあればポコポコ入ると思いますし、高齢者でも80歳手前の方はスマホを使いこなしています。問いかけ方も大切ですね。 実施するかどうかについては、予算がついているのであれば実施する方が良くと思います。紙ベースは今回のみかもしれないですが、熱量を上げていくように1回だけでなく電子でのアンケートを続けていくのも良いかと思います。
委員長	予算は今季のみですね。
事務局	予算的には、紙ベースでは今年度1回分だけですが、来年度以降も電子ベースですがアンケートを実施することは可能です。
委員長	それは、タイミングですね。
事務局	はい。内容とタイミングです。

委員長	予算は有効に活用したいなと思います。 この場でお話をしておきたいこととしては、表現は別として何を聞くかのアイデアです。この点については、次の2月の会議で確定して進めなければいけないので、意見を出してほしいと思います。 自分としては、年齢、性別、あとは地区ですね。中身としては関心がある政策の選択と自由記述欄で討論会で聞いてみたいことですね。自由記述はできますよね。
事務局	できます。ちなみに4年前のものをお配りできますが。
委員長	お願いします。
委員	純粹に興味のありなしを聞いてもいいのかなと。
委員長	自分もそう思います。
委員	興味のない人がどうしたら興味を持てるのかを聞いてみて。
委員	3回開催の是非も聞けますか。
委員長	決定のタイミング的に難しいですね。結果の集約ができるのは4月以降です。
事務局	ほのか4月号のタイミングで発送をするとして、意見の集約は4月の中旬以降ですね。
委員	テーマは、立候補予定者は何日前であれば提案できましたか。
事務局	初日の開催日の30日前です。
委員	前回の公開政策討論会のアンケートのタイトルは堅苦しすぎます。 子供を育ててきて思うのは、子育てをしている時に市政になんて興味は持てません。それどころではないので。子供が学校に通い始めて、ゆとりができてきたら視野が広がりますが。これからを担うそういう人に参加してほしいですし、聞いてほしい。配置や表現も工夫したいですね。
委員長	もう少し気軽な感じですかね。
委員	このアンケート用紙1枚でしたか。
事務局	アンケート記入のお願いのような、説明や注意事項を記載した紙が1枚上にありました。

委員	名前は必要ですか。
事務局	4年前は、うろ覚えですが、責任ある意見がほしいという趣旨で氏名を記入してもらうようにしたと思います。
委員長	4年前は、Z o o mでの会議開催だったこともあって雰囲気が重かったというか、役所の会議という感じでしたね。きっちりしていました。その中で責任ある意見をというものでした。今回、自分としては、フランクな感じで本音が出やすい会議にしたいなと思っています。 色々な人にアプローチしようとしたときに、氏名はない方が良いかなと思いました。
委員	純粋な思いを引き出したいので、名前は無い方が良いと思います。 興味を持ってもらいたいので、あなたの知りたいこと、聞きたいことを、興味を誘うような手軽な感じが良いです。責任感のようなものも確かに必要ですが、偶然来たアンケートで市政の入り口につながれば良いかなと思います。
委員	難しい表現ではなくやさしい表現が良いと思います。公平公正からも、ハードルを下げて多くの人が参加しやすいものにすることが良いと思います。
委員	選挙権の年齢も下がっていますし、高校3年生が見て何に注目するのか。量も多くて読めないですね。
委員長	若い目線からではどうですか。
委員	そうですね。500出して100返ってくるのは一般的にはどうでしょうかね。
事務局	昔よりもだんだん回収率が落ちてきているのは確かで、アンケート疲れもあるかなと思います。
事務局	直近で実施したアンケートがあって25%くらいでした。
委員	今回は500通分ですよ。
事務局	そうです。予算としては500通分です。
委員	私たちが身近な人にお願いしてきたら上がりますね。
委員長	それはやめた方が良いでしょう。無作為ではないし、関心が偏るので。

委員	場所によりますね。路上で無作為であれば良いでしょうし。
委員	前回のアンケートの内容は、このページだけですか。
事務局	前回は、その2つを問いかけるためのアンケートでした。年齢や地域は集計の際の属性情報です。
委員長	クロス集計で活用していましたね。
事務局	属性情報で変更があるのは、先ほど話に出た名前くらいですね。ですので、質問内容をどうするかです。
委員	説明を上に変更すると1面で収まるかもしれないですね。
事務局	レイアウトは、まずアンケートの内容が決まってからの配置ですの で。
委員	内容は、後日アイデアを出してもらって反映する形でどうでしょう。
委員長	時間が許すのであれば、アイデアを事務局に提出してそこから案を作るのは間に合いますか。
事務局	次の開催日をいつにするかにもよります。 それに広報の最終稿が3月の頭ですので、2月の中旬には内容を固めて、そこには間に合わせる必要があります。ただ、ほのかの原稿の確定ですので、QRコードの準備やアンケートの核となる部分、骨格となる部分が決められれば掲載内容は決められると思います。肉付けは、発送までにできればというところです。
事務局	その発送が 広報の発行と同時期と考えると、準備もありますので3月10日くらいまでに紙が完成していればと思います。
委員長	可能であれば、次回を2月の10日の週か17日の週に開催して、そのときにおおむね決まれば良いですが、そこから変えるのであれば余力があった方が良くと思います。 先に日程を決めても良いですか。
	【第3回実行委員会日程調整】
委員長	では、17日にしたいと思います。 それでは、事務局へのアンケート内容の提出は来週までで、その後で案を作成するスケジュールで事務局はいけますか。

事務局	問題ありません。10日の週で案を作って委員長にも御意見いただいて形にしたいと思います。
委員長	では、2月7日までに事務局にアンケートに関する意見を提出して、次の1週間で案を作るということで進めたいと思います。

(5) ワークショップ等

委員長	それでは、次に進みます。事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 4月以後は実行委員会の検討に時間的な余裕ができる。 ・ 前回の実行委員会で提案のあった主権者教育的な、ワークショップ、広報等について実施するのか。 ・ 予算はないため、実施するのであれば予算を伴わないものとなる。 ・ 準備を進めるのであれば、目的、メインターゲット、方法等を検討する必要がある。
委員長	ありがとうございました。 ここは実施する、しないがありますが、御意見ありますか。
委員	選挙管理委員会の動きはありますか。
事務局	その情報は今持っていませんが、例年動きがある記憶はありません。
委員	ワークショップは、結局、興味のあり、なしが分かっていると進められないかと思います。
委員長	アンケート次第ということですかね。
委員	アンケートに組み込んで確認で良いのかと思います。一方的にやりますとしても来ないかもしれないですし。
委員	参加型にする場合には、参加しますかというアンケートですかね。
委員	興味はあるけれど、入り口がわからないという人もやっぱりいると思います。
委員	市民まちづくり集会でも参加するとすごく話してくれます。
委員長	そういう意味でいくと、アンケートの項目に入れて、実施するのであれば内容はアンケートを見て決めたいですね。今後、9月ごろにテ

	一マ決めがありますが、その手前の夏ごろに声を聞いておいた方が公平公正に、市民の声として組みやすいですので、アンケートを元に実施を進める方が準備としては良いのかなと思います。
事務局	4月の中旬がアンケートの結果が分かる目途になると思います。開催する場合には、広報をする必要もありますので、ほのかへの掲載も考えて、実施のタイミングを調整する必要があります。
委員長	検討5に関しては、アンケート結果待ちになりますので、一旦閉じたいと思います。

3 その他

次回の日程

2月17日（月）午後7時から